

学校づくりアンケート結果報告

1月末に学校評価として、4・5年生児童とPTA役員の保護者の方々に、学校づくりに向けたアンケートをお願いしました。また、学校評議員5名の方々に、アンケート結果を基に、アンケートやご意見を伺いました。

◎4・5年生用アンケートの項目は、次の通りです。

【4・5年生用】

- 1 学校生活は楽しい
- 2 学校の行事は楽しい
- 3 学校の給食を楽しみにしている
- 4 先生は、話をよく聞いている
- 5 勉強は、わかりやすく楽しい
- 6 困ったこと、わからないことは先生に聞くことができる
- 7 授業に集中して取り組んでいる
- 8 自分の考えをみんなの前で発表できる
- 9 先生は、よくほめてくれる
- 10 学校やクラスのきまりを守っている
- 11 先生やともだちにあいさつをしている
- 12 委員会や係の活動をきちんとしている
- 13 友だちにやさしくしている
- 14 こまったとき、相談する友だちがいる
- 15 休み時間は友だちと外で元気に遊んでいる
- 16 家の人に学校のことをよく話す
- 17 コロナ予防の新しい学校生活を守っている
- 18 先生はいじめについてきちんと指導してくれる
- 19 友だちにいじめられていやな思いをしたことがある

各項目について、A（そう思う）、B（だいたいそう思う）、C（あまりそう思わない）、D（そう思わない）の4段階で記入してもらい、結果を分析しました。

全体的には、昨年と同様の結果が見られます。AとBの肯定的な回答の割合で分析しますと、86%以上が「1学校生活を楽しみ」と答えています。しかし、約8%がDと答えていたことを軽視せず、取り組んでいくことが必要だと捉えています。また、「2行事や3給食を楽しみにしている」が88%近くであることも、楽しさにつながっていると思います。

勉強面では、「7授業に集中して取り組んでいる」が88%で、「5勉強は、わかり

やすく楽しい」が86%と、授業に前向きに参加し、学習の楽しさを感じられている様子がうかがえます。「8自分の考えをみんなの前で発表できる」がアンケートの中で最も低い64%となりました。コロナの影響で、授業の中で考えを発信する機会を十分にとれなかったことも影響しているのではないかと思います。

先生との関係では、「4先生は、話をよく聞いてくれる」が94%とアンケート中最も高く、「6困ったこと、わからないことは先生に聞くことができる」が82%、「9先生は、よくほめてくれる」が83%と、頑張ったことへのタイムリーな声かけ等がなされ、先生への信頼度がある程度高いことがうかがえますが、さらにアプローチをしていくことが必要であると感じます。

学校生活面の10～12では、どれも90%以上で、意識を持ってしっかりと過ごしている姿勢がうかがえます。

友だち関係では「13友だちにやさしくしている」が93%、「14こまったとき、相談する友だちがいる」84%と高く、良好さがあることがうかがえます。15の遊び方については、70%と他に比べると低い値ですが、外という場所の限定が、室内で遊んでいる児童が該当しないと判断してのことだと思われる。項目の見直しを考えます。

「16家の人に学校のことをよく話す」は76%と若干低い結果になりました。学校のことに限定したためかと考えられます。学校のことに限らず、家庭での会話を大切にしたいと思います。

今年追加した新型コロナウイルス感染症予防に関する項目「17コロナ予防の新しい学校生活を守っている」が90%でした。しかし、一部の人や一部の場面で守られないことが感染の広がりにつながります。まだまだ収束については先の見えない状況です。引き続き意識して取り組んでいきます。

「18先生はいじめについてきちんと指導してくれる」が91.6%でしたが、成果として十分に現れているとはいえません。というのも19のいじめに関して、「ある」が26%でした。これは決して少ない値ではありません。今年度も何件かのいじめ事案があ

り、解決した件や対応中の件、重大ないじめ事案の対応も現在行っています。全校においては道徳科を要とした、教育活動全体を通して児童の心を育てるとともに、児童支援担当教諭（みんなの先生）を中心として、全職員で「いじめ防止・早期発見対応・解決」の重要課題に引き続き取り組んでいきます。

◎保護者用アンケートの項目は、次の通りです。

【保護者用】

- 1 学校は、教育目標や経営方針、活動の様子をわかりやすく知らせている
- 2 学校行事の内容は、適切であると思う
- 3 学校に、子どものことについて気軽に相談できる
- 4 学校は、子どもが努力したことを認められている
- 5 学校は、子どもの安全や事故防止に努めている
- 6 子どもへの学習指導は適切に行われている
- 7 子どもへの生活指導は適切に行われている
- 8 学校の施設・設備は適切に管理されている
- 9 学校の施設・設備は有効に活用されている
- 10 学校給食は、栄養などをよく考えてつくられている
- 11 学校は、PTAや家庭との協力関係ができている
- 12 子どもは、学校に行くのが楽しそう
- 13 子どもは授業がわかりやすいと言っている
- 14 子どもは、学校行事を楽しみにしている
- 15 子どもたちは、あいさつがよくできていると思う
- 16 子どもたちは交通ルールをよく守っている
- 17 学校からの配布物は、必ず読んでいます
- 18 学校・学級の様子は、家庭でよく話し合っている
- 19 子どもたちは、コロナを予防するための新しい生活様式を意識して、守ろうとしている

各項目について、A（よい）、B（だいたいよい）、C（あまりよくない）、D（よくない）の4段階で記入していただき、結果を分析しました。

AとBの肯定的な回答の割合で分析しますと、1項目を除いて80%～100%と全体的に、高い評価をいただき、本校の教育活動にある程度成果を感じていただけているこ

とがわかります。

特に、10の給食に関しては、Aが100%と市内4校の地産地消推進校として、信頼を得られていることは大変ありがたいことだと思います。

Aの評価がBの評価よりも少し低い値だった項目は、2、6、7でした。2の今年度の学校行事に関しては、コロナ禍における行事の創意工夫で、児童の満足度をもう少し高められる点があったと考えられます。来年度に生かして行きます。

6、7に関しては教育活動の中心になる項目です。児童の評価より保護者の方の評価の方が低い傾向にあります。保護者の方の願いの度合いに近づけるよう、来年度も学習指導、生活指導の充実に取り組みます。

1項目だけA Bの割合が60%であったのが、15のあいさつに関するものです。今年度は、大きな声でのあいさつはしない指導をせざるを得ない状況でした。最近では町中でも見知らぬ人へのあいさつはひかえる傾向にあります。しかし、コミュニケーションのはじまりとしてのあいさつはとても大切なことですので、あいさつをしたほうがよい場面などを具体的に示しながら、改善を図って行きます。

16の交通ルールに関しては、Bが70%でAが最も低い項目でした。学校内では分かりづらい児童の行動として、普段保護者の方が感じている評価です。学校での交通安全指導の充実につなげて行きます。

◎学校評議員の方々につきましては、今年度はコロナの関係で例年4回実施していた学校評議員会が2回となり、入学式の来賓参加見合わせや運動会がなかった等、児童の活動の様子を十分に見ていただくことができませんでした。そのような状況でしたが、児童と保護者のアンケート集計結果をご覧いただき、アンケート等にもご協力いただきました。判断材料の少ない中でしたが、様々なご指摘をいただくことができました。来年度に生かさせていただきます。

アンケートにご協力いただいた方々、貴重なご意見をありがとうございました。

教職員による自己評価・年間反省も含め、いただいたご意見やアンケート結果を基に、来年度に向けて、改善してまいります。